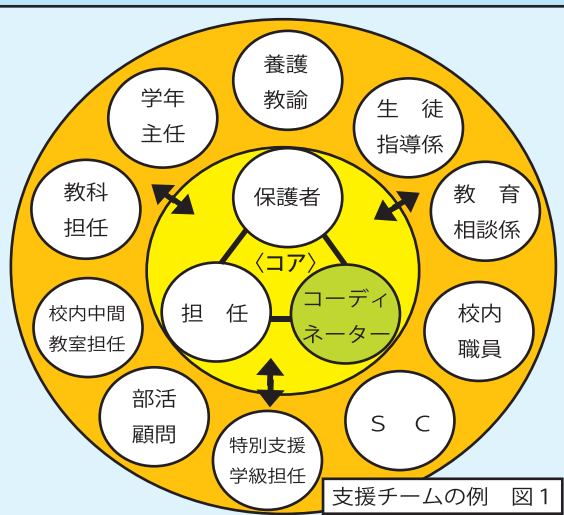


チーム支援で、迅速な対応を！

中学校の生活に不慣れな1年生のちょっとした変化を見逃さないことが大切です。もし、生徒が連続して休みだしたら、まずは、担任が家庭訪問して状況をつかみましょう。次に、担任と不登校を担当するコーディネーターが連絡を取り合い、チームを作って対応（チーム支援）することが有効です。

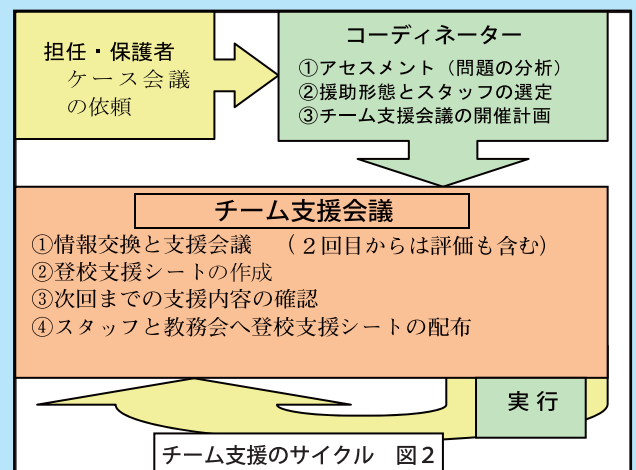
ステップ1 <まずは、担任の家庭訪問>

生徒の家の都合や本人の気持ちを考えて家庭訪問することが大切である。会えないからといって無理をして会おうとしてはいけない。会えない時はメッセージをおいてくる。



ステップ2-1 <次に、保護者との相談>

保護者との相談には担任とコーディネーターが参加し、保護者に寄り添ってきく。次回からは、内容によってコーディネーターが人選して会議を開く。その場で解決できることは迅速に対応し、保護者が見通しのもてる相談にする。(図1)



ステップ2-2 <チーム支援のサイクル>

連続して休んでいる生徒の場合、短いサイクルでチーム支援会議を開き、いつ、誰が、何を、いつまで支援するかを互いに確認しながら支援を進めていく。無理をせずお互いの立場を尊重しながら支援していく。(図2)

<必要に応じた外部機関との連携>

保護者と相談しながら、コーディネーターが窓口になって、福祉事務所、医療機関、スクール・カウンセラー、地域のセンターなどを生徒の気持ちに寄り添って紹介する。保護者や生徒の支援ニーズが高まってきたときにタイミングよく紹介することが大切である。